

科目区分	専門教育科目	科目名	栄養教育指導論実習Ⅱ		科目コード	22S604	担当者	太田 美代			
対象学生	生活創造学科 栄養士コース 2年生	学期区分	前期		単位数	1	担当形態	単独			
		授業形態	実習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
学生が栄養指導を行う際に必要となるスキルを修得することを目標とする						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	栄養指導を行うために必要なスキルを修得する										
2.	糖尿病患者の為の食品交換表の使用法を修得する										
3.											
4.								◎	○	◎	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						実技試験（40%） 提出物（20%） 定期試験（40%）					
実習・演習形式。グループごとに選択したテーマで、栄養指導の模擬演習を行う。											
課題等への対応						授業外学修時間					
提出されたレポートは添削して返却。実技試験は発表後に班ごとに総括を実施。その他、オフィスアワーの時間に質問への対応を行う。定期試験の結果については、追再試験期間中に対応する。						毎週30～60分程度（集団栄養指導媒体作成及び発表練習の際は2～3時間程度）					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	栄養教育指導論実習Ⅱの概要について アンケート・喫食調査について					シラバスを読み、科目の概要を確認しておくこと。					
第2回	集団栄養指導について（理論）					授業内容を参考に、自ら行いたい栄養指導案について調査を行う。					
第3回	集団栄養指導の実施 1回目 ①（指導計画案作成）					授業中に作成した指導計画案に基づき、自らのパートの発表原稿を作成する。					
第4回	集団栄養指導の実施 1回目 ②（原稿作成および媒体作成）					発表の練習と、必要な場合は栄養指導に必要な媒体の作成を行う。					
第5回	集団栄養指導の実施 1回目 ③（媒体作成及び中間発表）					中間発表で指摘された内容に基づき発表内容の修正を行い、本番の発表に向け練習を行う。					
第6回	集団栄養指導の実施 1回目 ④（発表：実技試験）					発表後、自らの発表の問題点について評価を行う。（発表内容で評価を行う）					
第7回	糖尿病食品交換表の使用法①					糖尿病について臨床栄養学の教科書を用いた復習を行っておく。（課題：交換表を用いた献立作成）					
第8回	集団栄養指導の実施 2回目 ①（指導計画案作成）					授業中に作成した指導計画案に基づき、自らのパートの発表原稿を作成する。					
第9回	集団栄養指導の実施 2回目 ②（原稿作成および媒体作成）					発表の練習と、必要な場合は栄養指導に必要な媒体の作成を行う。					
第10回	集団栄養指導の実施 2回目 ③（媒体作成及び中間発表）					中間発表で指摘された内容に基づき発表内容の修正を行い、本番の発表に向け練習を行う。					
第11回	集団栄養指導の実施 2回目 ④（発表：実技試験）					発表後、自らの発表の問題点について評価を行う。（発表内容で評価を行う）					
第12回	栄養アセスメント①【臨床栄養学（講義）の教科書を持参すること】					臨床栄養学の教科書の「栄養アセスメント」と「栄養状態の判定」の部分を予め読み、予習を行っておく。					
第13回	糖尿病食品交換表の使用法②					食品交換表を読み、前回の授業の復習を行っておくこと。（課題：交換表を用いた献立作成）					
第14回	栄養アセスメント②【臨床栄養学（講義）の教科書を持参すること】					臨床栄養学の教科書の「栄養アセスメント」と「栄養状態の判定」の部分を予め読み、予習を行っておく。					
第15回	給食だより等、各種栄養媒体の作成について					栄養教育指導論講義の教科書の「栄養指導で用いる教材・媒体」の部分を予め読み予習を行っておくこと。					
試験	定期試験を実施する										
教科書	糖尿病食事療法のための食品交換表 [著者]日本糖尿病学会 [出版社]日本糖尿病学会・文光堂				受講生へのメッセージ	栄養に関する知識を多く修得していても、それを相手に伝え、行動を望ましい方向に変えることが出来なければ栄養士の仕事は成り立ちません。 この実習では、グループで集団栄養指導を実際に行うことにより、栄養指導の方法論について学んでいきます。					
参考書等	なし										